

原因の探求を

江北町 田口 武人

十一月二十六日付の有明抄に、大相撲九州場所の千秋楽に四年ぶりで、「満員御礼」の垂れ幕が下がったが、中盤までは不入りであったとして、その理由なども書いてあった。

それには同感であった

最近の相撲は投げ技が少なくなり、引き落としたりはたいりする技が多くなつた。楽しんで勝とうとするのだろうか。こんな相撲を高価な入場料を取って見せるのは、相撲協会も情けない。私などテレビで見ても、ばからしくなっているのだから、旅費を使い入

相撲は国技でもあるし、昔の「栃若時代」の相撲のように、手に汗を握る相撲であってほしいと思うのは、私一人ではあるまい。協会も人気低落の原因を探求し、対策を立ててほしいものである。

(七十九歳)

方は、朝から晩まで子どもを考えた。小学校の先生は「出会いがない」といふからぬうわさを聞きますが、あれはホントかもしれない。そこまで子どものことを考えても、「まだまだ」という先生たち。教師という仕事のやりがい、その果てしなき、使命の重さをあらためて感じました。

十二月になり、寒くなってきました。でも寝坊なんてできません。今日も誰よりも早起きの仙人が、小学校のあの高い窓から、下界の僕たちに「ガンバレ」と言ってくれている気がするからです。

十月、小学校へ「教育実習」に行ってきた。子どもたちはとても素直で優しく、僕が忘れかけていた大切な「何か」を思い出させてくれました。

現場の先生方は、たくさんの子どもの成長に大きくかわる「教師」という仕事の素晴

甘くち辛くち

らしさを教えてくれました。大学の講義三年分よりも、実習の一週間の方が中身が濃く感じるほどの充実した日々。毎日が学びと感動の嵐です。

そんな実習中でも一番衝撃的だったのは、一人の先生との出会いでした。先生は、毎年

小学校で出会った「仙人」

を教えてください。自分が全身で感じてきたことを話すので、一つ一つの言葉の重み、迫力が全然違います。もはや、大学生も小学生も関係なくなつて、仙人の話に熱中します。

探求心、向上心、そして努力を継続する力。仙人の生き方そのものが教育でした。僕は仙人のことは一生忘れないと思います。それはきっと、子どもたちも同じだと思ひます。

**弓削田 健介** (佐賀市)

音楽療法やピアノ版生涯学習など、音楽と社会のかかわりに興味を持つ。「興味」の幅が広くて、将来の目標が定まりきれない。佐賀大学3年生。福岡市出身、1982年生まれ。

た。あんなすごい授業は初めてでした。そんな仙人の何よりもすごいところは、その「生き方」だったように思います。尽きぬ

仙人は「毎日が反省の連続です」と言います。これは仙人に限らず、他の先生たちも同じでした。現場の先生

本では期間の初め、その他は太れるが、日本海側で暮らす。東日本と西日本海側で暮らす降る所があり、降る日が多いが、

投稿され  
時計「三百字」  
字「ちよつと」  
百字前後です。  
輪 電話番号を  
しません。あて  
佐賀新聞社生活  
には薄謝します

**概況**

週末

札帳

仙台

5	6	7	8	9	10	11
金	土	日	月	火	水	木
50	50 A	50 A	40 A	20 A	30 B	

年来ご承知のことに江副氏は当員としてブルー建設の直接の担、その辺の経存じのほずであもちろん、野